

2026年度 1学期聴講対象授業

番号	コース	学年	年月日	曜日	時限	講義タイトル	講師	講師	場所
1	国際	2	4/10	金	午前・午後	トアロード物語神戸外国人居留地物語	楠本 利夫	シニアルネサンス研究会会長	学習室1・2
2	共通	2	4/14	火	午後	地域を支えて生涯現役	中村 順子	認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター 神戸 理事長	カレッジホール
3	スポーツ 講義	2	4/14	火	午前	<講義>今日から始める生涯スポーツ	山口 泰雄	神戸大学名誉教授	カレッジホール
4	共通	1	4/15	水	午後	ボランティア入門	栗木 剛	mottoひょうご事務局長	カレッジホール
5	ECO	2	4/15	水	午前	総論「核と日本人～ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ」	山本 昭宏	神戸市外国語大学総合文化コース准教授	学習室3・4
6	スポーツ 講義	1	4/15	水	午前	<講義>今日から始める健康づくり	山口 泰雄	神戸大学名誉教授	カレッジホール
7	国際	1	4/16	木	午前・午後	文化人類学と異文化理解～オセアニアを中心に～	吉岡 政徳	神戸大学名誉教授	学習室1・2
8	健康	1	4/20	月	午前・午後	口腔ケア I 午前:よく噛んで健康長寿 午後:フレイルとオーラルフレイル	高橋 進吾	たかはし歯科 院長	学習室5・6 5名まで
9	スポーツ 講義	3	4/21	火	午前	<講義>アクティブシニアを目指して	山口 泰雄	神戸大学名誉教授	カレッジホール
10	国際	1	4/24	金	午前・午後	韓国社会の理解 韓国の「食文化」	金 泰賢	神戸女学院大学非常勤講師	学習室1・2
11	国際	1	4/30	木	午前・午後	日本語の特徴と日本語教育①	川上 恭子	元園田学園女子大学教授	学習室1・2
12	ECO	2	4/30	木	午前	総論「福島原発と放射能汚染」	山内 知也	神戸大学大学院海事科学研究科教授	学習室3・4
13	国際	1	5/7	木	午前・午後	日本語の特徴と日本語教育②	川上 恭子	元園田学園女子大学教授	学習室1・2
14	ECO	2	5/7	木	午前	自然共生「守りたい神戸の自然」	大嶋 範行	兵庫・水辺ネットワーク 里地・里山の保全推進協議会	学習室3・4
15	美工	3	5/11	月	午前・午後	【3学年合同授業】工房について・陶芸と3年間の学習について	赤松 真木	陶芸家	カレッジホール
16	健康	1	5/11	月	午後	生活習慣病予防の食生活	田丸 淳子	神戸学院大学栄養学部 准教授	学習室5・6 5名まで
17	共通	2	5/12	火	午前	食品の健康情報～妄信は大損のもと～	村上 明	兵庫県立大学環境人間学部 食環境栄養過程教授	カレッジホール
18	共通	1	5/13	水	午後	天体と宇宙のお話	井上 毅	明石市立天文科学館 館長	カレッジホール
19	国際	1	5/14	木	午前・午後	アセアンを知る	太田 和宏	神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授	学習室1・2
20	国際	2	5/15	金	午前・午後	中国の社会と経済	梶谷 懐	神戸大学大学院経済学研究科教授	学習室1・2
21	健康	1	5/18	月	午前・午後	午前 : 内科のはなし 午後 : 健康診断結果表の見方	平田 結喜緒	公益財団法人兵庫県予防医学協会副会長/ 健康ライフプラザ 健診センター長	学習室5・6 5名まで
22	健康 共通	2	5/26	火	午前	【健康3年生・共通2年合同授業】 いのちを生ききるための仏教の智恵	大河内 大博	浄土宗願生寺住職	カレッジホール
23	共通	2	5/26	火	午後	地域を豊かにする活動のつくり方 ～俯瞰の大切さと風、水、土、そして種の話～	永田 宏和	NPO法人 +arts(プラス・アーツ) 理事長	カレッジホール
24	国際	2	5/29	金	午前・午後	Global Southの発展とインド	和田 幸子	元 神戸市外国語大学教授	学習室1・2
25	共通	3	6/2	火	午前	人生が輝く！思いが伝わる声と話し方	川邊 暁美	言の葉OFIICEかのん代表・元NHKキャスター	カレッジホール
26	国際	1	6/2	火	午前・午後	イスラームの基礎知識 現代中東の諸問題	伊藤 隆郎	神戸大学大学院人文学研究科准教授	学習室1・2
27	共通	1	6/3	水	午前	歓迎のひとときを音楽とともに～クラシックからジャズまで～	山中 佑起子	打楽器奏者	カレッジホール
28	国際	2	6/4	木	午前・午後	国際関係の現在	月村 太郎	同志社大学政策学部教授	学習室1・2
29	健康	2	6/5	金	午後	防災意識を高める ～日頃の備え～	太田 敏一	防災リテラシー研究所 代表	学習室5・6 5名まで
30	健康	2	6/5	金	午前	アルコールとのつき合い方	中元 康雄	幸地クリニック 精神保健福祉士	学習室5・6 5名まで
31	国際	2	6/5	金	午前・午後	国際関係の歴史	月村 太郎	同志社大学政策学部教授	学習室1・2
32	ECO	1	6/8	月	午前	自然共生「人と動物が共生する社会のために」	梅木 章成	神戸市健康局 環境衛生課係長	学習室3・4
33	ECO	1	6/8	月	午後	資源循環社会「私達の生活の中のゴミについて、 意識してみましよう！～要らなくなったものの行方～」	黒谷 静佳	環境省認定・環境カウンセラー	学習室3・4
34	共通 ECO	3	6/9	火	午前	【共通2年・ECOライブ3年合同授業】 おしゃれから始める社会貢献	高津 玉枝	株式会社福市代表取締役	カレッジホール
35	ECO	2	6/11	木	午前	「こどもたちの今、こどもの居場所の役割」	中村 美保	神戸市社会福祉協議会灘区社会福祉協議会 地域支援課長	学習室3・4
36	国際	1	6/11	木	午前・午後	フェアトレードとアジアの女性の自立支援	奈良 雅美	AWEP(アジア女性自立プロジェクト)代表理事	学習室1・2
37	国際	2	6/12	金	午前・午後	イスラームの心と国際協力 サウディアラビアの大変革	中村 覚	神戸大学大学院国際文化科学研究科教授	学習室1・2
38	健康	2	6/12	金	午前	中高年に多い外科疾患	小澤 修一	医療法人康雄会 西記念 ポートアイランドリハビリテーション病院 院長	学習室5・6 5名まで
39	健康	2	6/12	金	午後	生成AIの概要と利用法	和田 昌浩	甲南大学知能情報学部知能情報学科 准教授	学習室5・6 5名まで
40	健康	1	6/15	月	午後	高齢期の食と栄養	山下 陽子	神戸大学大学院 農学研究科 准教授	学習室5・6 5名まで
41	健康	1	6/15	月	午後	健康とくらしの調査からフレイル予防を考える	坂本 文	神戸市福祉局介護保険課係長	学習室5・6 5名まで

42	ECO	1	6/16	火	午前	自然共生「神戸の森を考える」	重藤 洋一	神戸市建設局森林・防災部森林課 専門役	学習室3・4
43	ECO	1	6/16	火	午後	自然共生社会「暮らしに関係あるの？生物多様性って」	戸田 耿介	(公財)日本生態系協会評議員	学習室3・4
44	共通	1	6/17	水	午前	親と子のあいだ	橋本 明	公益社団法人家庭養護促進協会 事務局長	カレッジホール
45	国際	1	6/18	木	午前・午後	PHD協会の活動	坂西 卓郎	(公財)PHD協会常務理事・事務局長	学習室1・2
46	ECO	2	6/18	木	午前・午後	午前:脱炭素社会「再生可能エネルギー先進国:ドイツ、デンマークの取組み」 午後:脱炭素社会「日本の再生可能エネルギー普及の現状と課題」	和田 武	自然エネルギー市民の会代表 元日本環境学会会長	学習室3・4
47	健康	2	6/19	金	午前・午後	ケアの基本Ⅱ～こころがうごけば からだもうごく～	小椋 脩	リハビリテーションの『モグネット』主宰 (理学療法士・言語聴覚士)	学習室5・6 5名まで
48	国際	3	6/19	金	午前・午後	ロシアとウクライナ:戦争に至るまでの歴史的背景	渋谷 謙次郎	早稲田大学法学学術院教授	学習室1・2
49	ECO	1	6/23	火	午前・午後	総論「持続可能社会づくりとSDGs」	松岡 広路	日本福祉大学 特任教授	学習室3・4
50	国際	1	6/25	木	午前・午後	日本と世界の食料事情	保田 茂	神戸大学名誉教授 兵庫農漁村社会研究所理事長	学習室1・2
51	健康	2	6/26	金	午前	地域活動は私たちの周りにもある！ ～実践事例から学ぼう～	養性 久美	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 地域支援部地域福祉担当課長	学習室5・6 5名まで
52	国際	2	6/26	金	午前・午後	ミャンマー難民との共生を考えるードキュメンタリー映画 「OUR LIFE」制作の背景を通してー	直井 里予	国際ファッション専門職大学 国際ファッション学部講師	学習室1・2
53	健康	1	6/29	月	午前	くらしの中の福祉～「ふ」だんの「く」らしを 「し」あわせにする「ふくし」～	尾崎 慶太	関西国際大学 教育学部教育福祉学科 講師	学習室5・6 5名まで
54	国際	2	6/30	火	午前・午後	ブラジル社会と政治経済	浜口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授	学習室1・2
55	共通	1	7/1	水	午前	気になる病気と薬の豆知識	岡本 正志	神戸学院大学薬学部教授	カレッジホール
56	国際	1	7/2	木	午前・午後	2025年大統領選挙後の韓国政治と 日韓関係日韓関係とマスメディア言説	木村 幹	神戸大学大学院国際協力研究科教授	学習室1・2
57	ECO	3	7/6	月	午前	資源循環「ゼロウェイスト社会を目指して」	西谷 寛	海と空の約束プロジェクト代表	学習室3・4
58	ECO	3	7/6	月	午後	地域環境「アスベスト問題の現状と課題」	西山 和宏	NPO法人ひょうご労働安全衛生センター 事務局長	学習室3・4
59	健康	1	7/6	月	午前	夏の過ごし方(熱中症)	関 和俊	流通科学大学人間社会学部 人間健康学科スポーツ健康コース 教授	学習室5・6 5名まで
60	ECO	1	7/7	火	午前	総論「神戸市の環境行政」	三川 博英	神戸市環境局副局長	学習室3・4
61	共通	3	7/7	火	午前	アンデス文明の神殿を掘る	関 雄二	国立民族学博物館名誉教授	カレッジホール
62	ECO	2	7/9	木	午前・午後	地域環境「激甚化する自然災害と防災・減災 (1)気象災害 (2)地震災害」	齋本 格	かがく教育研究所	学習室3・4
63	国際	2	7/9	木	午前・午後	国家の歴史～王国から国民国家まで～	斎藤 正寿	兵庫大学現代ビジネス学部教授	学習室1・2
64	国際	1	7/10	金	午前	在日ベトナム人の現在～近畿・東海地方の事例を中心に	林 貴哉	武庫川女子大学文学部講師	学習室1・2
65	健康	2	7/10	金	午前・午後	午前:在宅医療と訪問看護午後:人生会議	藤田 愛	北須磨訪問看護・リハビリセンター所長/ 慢性疾患看護専門看護師	学習室5・6 5名まで
66	ECO	3	7/10	金	午前・午後	総論「環境コミュニケーションと私たちの暮らし」 (求められる環境コミュニケーション)	糟屋 美千子	兵庫県立大学環境人間学部教授	学習室3・4
67	国際	1	7/10	金	午後	神戸在住ベトナム人の背景と状況	福山 恵 (ハ・ティ・タン・ガ)	元神戸定住外国人支援センター介護福祉士	学習室1・2
68	健康	2	7/13	月	午前	実例・成年後見制度	山本 勝之	ゆい社会保険労務士事務所 所長(社会福祉士)	学習室5・6 5名まで
69	健康	2	7/13	月	午後	色彩・薬と健康	石崎 真紀子	兵庫医科大学社会学連携推進機構コーディネーター 薬学部研究員・非常勤講師	学習室5・6 5名まで
70	共通	2	7/14	火	午前	「夏バテ防止！～薬膳でさらに健康に～」	渡部 美智余	一般社団法人日本フード&ヘルス協会代表理事	カレッジホール
71	共通	1	7/15	水	午前	認知症の早期の気づき、 神戸市の診断助成制度を利用しましょう	前田 潔	神戸市シルバーカレッジ学長	カレッジホール
72	共通	1	7/15	水	午後	落語の世界	桂 三ノ助	落語家	カレッジホール
73	国際	2	7/16	木	午前・午後	国際政治における国際組織の役割	松村 尚子	神戸大学大学院法学研究科教授	学習室1・2

提出日： 年 月 日

聴講申込書

コース・専攻名		年	氏名	
---------	--	---	----	--

聴講を希望する講義 No. _____

講義日	月 日 ()	年	
種別	共通 美術・工芸	健康ライフ 音楽文化	国際交流・協力 園芸
タイトル	生活環境/ECO ライフ 食文化 スポーツ講義		
講師名			

- 注意事項
- ① 自分の講義がある日は申込みできません。
 - ② 自分の専攻の上位学年の専門講義は聴講できません。
 - ③ 受講の決定は先着順（20名程度）とします。
 ※健康ライフ 1、2年授業は5名程度とします。

事務局 使用 欄	聴講決定	可・不可（理由： _____）				
		加ッヅ マネーヅ ャー	教務リーダー	聴講担当	講義担当	受付者

※受付→講義担当（可否確認）→聴講担当→教務リーダー→マネージャー→教務担当（決定連絡）

「聴講」制度の利用について

(令和8年度1学期聴講のご案内)

受付は4月10日(金)から
事務局まで

シルバーカレッジでは、他コース・専攻や他の学年の授業を受講することができる「聴講」制度を設けています。

聴講できない授業もありますが、聴講の受け入れが可能な授業につきましては、掲示およびホームページに掲載しています。

よりよき学びのため、積極的に「聴講」制度をご活用ください。

なお聴講を希望される場合は、事前に「聴講申込書」に必要事項をご記入の上、事務局窓口までご持参ください。

なお、聴講利用にあたっては、以下の点にご注意ください。

- ①自身の授業がある場合には、聴講できません。
- ②自身のコース・専攻の上位学年の専門授業は、聴講できません。

授業 学年	専門授業						共通・スポーツ		
	自身のコース			他のコース			1年	2年	3年
	1年	2年	3年	1年	2年	3年			
1年生				○	○	○		○	○
2年生	○			○	○	○	○		○
3年生	○	○		○	○	○	○	○	

- ③聴講可能人数は、各授業とも20名程度とします。

※健康ライフ1、2年の授業は、教室の収容人数を超えるため5名程度とします。

- ④申込は、当該授業日前日までとし、先着順で受け付けます。

- ⑤授業によっては座席に余裕がないため、机がない場合があります。その場合は最後尾の椅子に座って受講してください。

4月6日 事務局